

プロテクション講習会

【報告者】S上

【日時】2016年3月26日

【天候】晴れ

【参加者】I富 (CL) ・I藤 ・K崎 ・K田 ・U野 ・T、K ・O、K
F谷 ・S上

《コースタイム》

野北海岸 9時～16時

《 報 告 》

□講習内容

1.墜落係数と衝撃荷重 各支点について (座学)

2.プロテクションの設置練習

岩の亀裂へのハーケン、カム、ナッツを設置、撤去する、岩や立ち木を直接支点として利用する方法の練習

3.プロテクションからの懸垂下降

岩場登攀中に行き詰った状況を想定し、岩場にプロテクションを設置しそこから懸垂下降で脱出する練習

1. アルテリアとロストアロー、ヤマケイテクニカルブック (アルパインクライミング) の資料を用い、落下率と衝撃荷重・落下係数・カムやナッツの種類について学びました。理論上の落下係数は、落下距離÷繰り出されたロープの長さで導かれます。自分の想像をはるかに上回る落下衝撃が墜落の際にかかっている事が分かり非常に恐怖感を覚えました。同じ距離の墜落でもロープの屈曲や岩との摩擦により衝撃荷重も増大するので登攀の際には登る事だけに集中せずにロープの流れ等にも注意する事を心がけようと思いました。
2. プロテクションの設置練習では実際にハーケン・カム・ナッツを岩壁にセットして体重を支えられる強度が確保できているか確認を行いました。私が初めてセットしたハーケンは体重を預けようとした瞬間にあえなく外れていきました。自分がセットしたハーケンで懸垂下降なんて場面には遭遇したくないものです。
3. プロテクションからの懸垂下降では実際にジャンピングを使用し岩場に RCC ボルトを打ち込み懸垂下降を行いました。適当な深さまで穴をあける為に5人交代でハンマーで打ち込んでいたのですが、全く穴がほれない・・・何回打ってもほれない・・・あんなにも大変な作業とは思いませんでした。先人の方達は穴を開けながら登攀していたと思うと一体何者なんだと思いました。RCC ボルトを設置し、懸垂

下降後は2人1組になってハーケンとカム・スリングを用い支点工作をしながら登攀しました。今回の講習会を通してロープ等の性能や安全面について学ぶことができ良かったです。また、ハーケンやカム・ナツ等初めて使用する道具も沢山あり楽しかったです。一人でもしっかり安全な支点工作ができるように頑張りたいと思います。